夕刊 磐城新聞
十二月二十四日發行
（日曜祭日翌日休刊）

木曜文藝

アイヌのチヤシ小論
チヤランケの語義
赤井嶽男

衰滅の一路をたどる原始民族アイヌは日本の文化生活に馴染むに從ひ次第に原始的な固有の風習を失つて行くので彼等の原始生活を永く保存する必要を近く文部省よりチヤシ（城砦、集會所を意味するアイヌ語）三ケ所が史蹟として指定されることになつた。今回史蹟に指定されるチヤシは何れも北海道に在り見事に保存されてアイヌの原始生活狀態を知る好個の史料となつてゐると云はれてゐる。

そのうち釧路市鶴ケ岱チヤランケチヤシと云ふのがあるが今回の發表にはチヤシの詮索丈けでチヤランケに就ては何事も云つて居ない

０

アイヌ語のチヤランケは『談判』の義でアイヌ部落に住む內地人間にすら最も多く使はれ、よく宴會の翌日などに

『あれから誰れそれにレンカイ（澤山）チヤランケつけたつちうぢやないか！』

などと飲み仲間の囁きを揶揄したりする、即ち尖銳化した攻勢の氣分で行ふ追窮難詰で普通の交談では絕對に無いのである

０

斯うした用語例から觀て前記の所謂チヤランケチヤシを直譯すると『談判をする城砦——集會所』と云ふことになつて、どうやら部族間の紛爭事件、裁判今日の法廷の樣な處でなかつた？と云ふ判斷も容易に行はれる

０

彼等の言語は二語乃至數語の連續を直譯して直にそれで良いのである。一々ここに例示するの煩に堪へぬが差當り思ひついた一つを擧げると

カンピ（書類）アシカイ（可能）アイヌ（人）

は『讀み書きの可能な人』全體を指すもので言語數の少い彼等はこの言葉で學校の先生をはしめそうした總ての階級を指し、たゞその時と場所によつて之を遣ひ分けると云ふに止まつてゐる

０

岐路にそれるが更に少い言葉を遣ひわける最も顯著な例を云ふと彼等日常の挨拶である『ヤンカラプテイ』なる語は大体『御免下さい』の意であるが、之が朝なら『お早よう』日中なら『今日は』夜なら『今晩は』になるのだから實に重寶此の上無しと云ふべきである

０

當否は遽に斷せられぬとしても曾て前後數年間彼等と親しく接觸した自分には今回世に出たチヤランケチヤシの言葉に關する見解として以上の程度に發表する信念を有つて居るが別に自分のアルバイトとして誇負する程のものではない。大方の叱正を乞ふ

斷層
ちよいと困つた事

○エンタツ、アチヤコのまんざいを聞く時は、まんざいを聞く時の氣持でゐなければ面白くないし、名士の講演を聞く時はまたそのつもりで緊張してゐなければならないのは至極當然のことである

○ところが、この至極當然のことが、この地方の文學少年少女にはまだ〳〵呑みこめないらしく、わがゴシツプ欄、『雀の卵』について屢々讀んでない横槍が迷ひこんでくるがこれはちよいと困つたことだ

○人のゴシツプに一々角立てゝ兎や角云ふのも甚だ敎養のない話しであるが、第一、それは、物の讀み方を知らないと言へる。到底文章を談ずる輩ではない。つまり勉强をしてゐない證據であるが、地方田舍文壇には斯ういふ輩が實際は大多數なのである

○身に憶えのあるお方は今後こういふつまらない根性を捨てゝ都會的な修養をつんで欲しい。ゴシツプはゴシツプとして讀めるだけのゆとりを持つて欲しいと思ふ

（し）

袷の賦
白木英尾

女のいちばん美しくみゆるのは四季を通じて河といつても夏だと思ふが、さて袷を着た秋の女の姿にはまた捨て難い情趣がある

誰かの句に

移り來し
女あるじや
初あはせ

といふのがあつたが、秋の袷を着た女の美しさは、二十前後の人よりも寧ろ二十五、六歳から三十歳ぐらゐまでの女性にあるやうだ

つまり町の娘よりもお孃さんよりも、奧さん、おかみさんといふ人の方が似つかはしい。殊に黑繻子の襟をかけた縞物を着た町家のおかみさん（おめかけさんなら尙けつこうだ）が、新川畔あたりの櫻の落葉を肩に受けながら朝寒の路を步いてゐる風情には、思はず胸の透くやうなことが屢々あるものだ

髮はやはり丸髷がいゝ。鏑木淸方の描いた『築地明石町』といふのには、明治時代流行つた束髮の女に黑縮緬の羽織を着せてゐたやうに憶えてゐるが、あれはまたあれでいゝところがあるし、同時にあの時代の趣きはあゝなくては叶ふまいとも思ふが、わたしはやはりすつきりした小股の切れ上つたくろうとあがりの年增の袷姿に、更に一層の魅力を感せずにはゐられない氣がする

昭和美人の秋の裝ひは、もはや粹な袷姿でもあるまいが、しかも肉躰のあまり貧弱でない二十五、六の女性の小粹な姿には、秋の女のもつ特殊な雰圍氣を感ずることが出來るのである

ワンピースも良いし、あでやかな錦紗づくめのマドマゼルも、もとより惡くないが、わたしの心の琴線に一番强く觸れるものは、色のすつきりと白い二十五、六の女の袷姿だと云ひたい

その日〳〵

○

野になびく尾花、庭にかほる菊花、樹梢に鳴くするどき百舌の聲に秋は漸く闌けてゆく

小説 誰が殺したか
(155) 水谷準作　龍造寺脩畫

第三の殺人（二十八）

『それも杉野が惡いんです拳銃であなたの心臟を狙つたんですもの。正當防衞ですわ、みんなわたしの爲だつたんです』

『はゝゝ……』

獅子內は自嘲的に笑つた

『正當防衞はよかつたんですね、だが殺人は殺人です赤城探偵はたうとう私の變裝も足跡も觀破して、今などはもう駄目かと思ふまで追ひつめられたのですが、誰か邪魔がはひつたと見えて、やつとこゝまで逃てこられました。併し追つつけ赤城がやつてくるのでせうさうなれば、あなたを警察に渡す譯には行かない。私は飽迄逃るんです。何處までも何處までも』

『獅子內さん、行つちや厭あたしを抱いて、いつものやうに』

女はこんな時、潔く理性を捨るものだ。春枝未亡人はこれまで誰一人にも、恐らく故杉野氏にさへ見せた事のない狂態をもつて獅子內に迫つた

彼はすがりつく彼女を胸の中で〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇を與へた春枝未亡人が苦しさと嬉しさのために半ば氣を失ひかけるのを、今度は突放すやうにして

『では、さようなら。さあ奧さん、私を助けるために一芝居して下さい』

『獅子內さん、それちやさよらなら。逃て下さい。あとはあたしがやります』

『ありがたう。では』

元來た窓から獅子內は滑りでるやうにして去つた。火のやうな眸でそれを見送つた春枝未亡人は、矢庭に玄關の方に向かつて駈けだした

『皆さん、早くきて下さい曲者が、曲者が……』

猶高い悲鳴が、いかにも物々しく夜の闇に尾を引いた。それにつゞいて赤城の聲

『何處です。何處です？』

『部屋に閉じこめて置きましたが……』

『それッ三田村君』

併し、これらの會話を獅子內は闇の木立の中で聞き流し、にやりと薄氣味惡く笑つてから、塀を乘越ねて去つた。そして、一旦飛出した空屋の中へ大膽にも又取つて返したのである。彼はその空家に、變裝用の小道具をつめ込んだ旅行鞄を置忘れてきた事を思ひ出したのだ。若しもその旅行鞄が見つけられでもしたら、それこそ彼の運のつきといふものであつた——

が運命は皮肉だ、彼が鞄を取返しに戾つた空家に、兩手を柱と共に縛された富士野淳一が待つてゐるとは流石に氣がつかない

淳一は色々と思ひ惱みながら、赤城探偵が自分を柱に結びつけて去つた心事があれかこれかと忖度して見た、そして、自分の邪魔立てによつて、重大犯人をまんまと逃がしたとすれば、その罪は決して輕くはないことを痛切に感じた

と、そこへぬツと忍び入て來たのが獅子內であつた、先を急いでゐる彼には柱に淳一が、縛りつけられてゐるのも眼に入らぬらしかつた、それでなくてさへ電燈の光は床の上を五尺とは明るくしてゐない、獅子內は押入れに隱してあつた小さな旅行鞄を取出して一應內部を改めるために、頭を低くして顏を電燈のところへ持て行つた、その頭が恰度淳一の足の先にきたのだ。淳一はとつさに何かしら電光のやうなものを感じて、發作を起したかと思はれる程の激しさで、足の先にきた頭を蹴上げたのである

廣告

新田町 榮ちやんの
天下一品！不味い
おでん是非御試食下さい。
榮ちやん 獨特の料理

下痢病妙藥ヲ御紹介致シマス
天下一品散
平町ネヅミ坂角
特約店 桑原商店
『取次販賣需ニ應ズ』

株式現物賣買
三共商事合資會社
平町大町通り 電話三六〇番

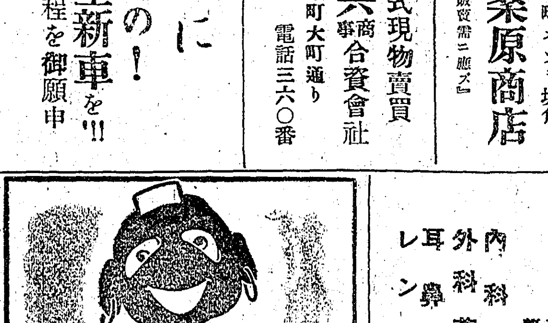
秋の旅行に
素晴しい乘心地の！
三五年式流線型新車を!!
是非御利用御用命の程を御願申します。
平二 三井タクシー
電話六八五番

耳鼻咽喉科專門
平町南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
（入院隨意 病室完備）

磐城共濟病院（福島縣平町 電話六四一番）
內科・小兒科　院長醫學博士 石山謙郎（電話六四一番）　部長岩手醫學士 佐藤尙輔
產科・婦人科　部長醫學士 黑澤廣
外科・耳鼻咽喉科　部長醫學士 大町久藏
皮膚泌尿器病科・花柳病科　部長醫學士 前澤正（電話二七二番）
X線科　醫學博士 石山謙郎
物療科　技手 石山彪
藥局　藥局長藥劑師 吉本孝平
事務長 鈴木賓雄
◎每日午前八時ヨリ午後十時迄診療
◎病室完備 入院隨意

自轉車。リヤカー
フタバ商會
平・新川町・橋際

高久病院（電話五三一番）
平町田町
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽淸
藥劑士 佐竹菊雄



磐城代表的の土産品
山。霊峰（みやま）羊羹 里。柿羊羹 海。のり羊羹 各一本金十錢
右美麗三本箱入 特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土産品です
小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元 小川郷驛前 平屋賣店

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社石油特約店
關彰商店平支店 電話六一番
本店 水戸線下館驛前（電話五五番）
營業種目 石油、揮發油、輕油、重油、マシン油、モビール油、機械油類、植物油、胡麻油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）
常磐線關本驛前（電話八二四）
常磐線四倉驛前（電話平潟五四）
久慈濱支店（電話四八）
海上給油及油槽所 大津、平潟、小名濱、江名濱（電話一三七番）

診療科目
一、齒科一般 保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野悳次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向ヒ）電話五〇九番

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町（電話五八番）藤田女學校前

齒科 口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
鈴木醫院
內郷村高坂磐炭病院前
『入院のお需めに應ず』（看護婦及ビ見習看護婦募集）

諸橋外科醫院
平町新川町二七 電四六四
內臟外科 皮膚科 花柳病科 レントゲン線
醫學博士 諸橋鐵彌
醫學士 奧義弘

洋服大特賣
男女用學生冬服豐富に取揃
洋服は高島屋
注文並に既製品
高島屋洋服店
平町二丁目 電話三八六番

何うして生きてゐるか 凶作に泣く菊田山村

救濟道路工事竣功檢査から戻つて 慘狀を語る 小林土木監督所長

石城の山間部たる田人、荷路夫、貝泊に至る十年度凶作對策道路改修縣工事（八ケ所）は工費三千餘圓で貧弱農民を潤しつゝ此程漸く出來上つたので小林平土木監督所長が昨二十三日竣功檢査を行つた處同方部は昨年の二の舞を踏み不作最惡地と云はれてゐる土地だけに檢査の終了次第直に村議區長連に取まかれて工事繼續方の陳情攻めに遭つたとの事で村內を一と亘り視察した同所長は

貝泊、荷路夫、入田人の如きは何れも穗が靑立つて農民は二分作迄行けば精々だらうと暗然として語る、刈り取る手間賃さへない騷ぎだ、アワ、ソバ等はどうにか良いが稻とマメアヅキは殆と獲れない、昨年は一昨年が豊作だつたからまだよいが今年は昨年も凶作騷ぎの翌年だけにその困り方も察せられる、今の處何を喰つて生きてゐるのか、恐らく想像以上のものがあらう

と畑違ひの凶作地視察談をひとくさり、此の視狀に鑑みて直に地元村當局と連絡して縣に工事繼續の猛運動を起す事になつたと

待遇改善問題で 平警親會起つ

近く調印取纒めに着手

既報—三項目の警察官待遇案を提げ田村、白河、郡山各警親會と連絡してこれが實現運動に努める事になつた平警親會では今二十四日午前十時から平署長室に役員會を開き種々協議の結果直に郡內退職警官百餘名の調印取纒めに着手する事になり菅沼會長は明二十五日の出縣を機に種々關係者と懇談、調印の纒り次第縣下を一丸とした請願書を首相、內相、貴、衆兩院、縣知事等に提出すると

籾摺稻扱料金改正

高騰に若干非難起る

十一月から改正される籾摺業者の許可制に伴ひ郡內同業者間でも組合を組織する事になり昨二十三日午後一時から平園体事務所で組合發會を兼ね籾摺、並に稻扱料金協定を協議した

籾摺料は組合員間で一俵十五錢を唱えたがこれに對し郡駐在吉成技手が組合創設による料金の騰貴はさらでだに困憊の極にある農民を苦しめるものだと十錢論を主張し結局十三錢に落着、稻扱料は組合員間で一時間一圓五十錢を唱えたがこれ亦吉成技手が現在の大浦方部に於ける八十錢論を云ひ張つたが一圓に決つた

組合組織によるこの料金の騰貴は農業關係者側から非難されるに至り今後の推移を注目されてゐる

。。。。。磐女講堂地鎭祭

愈々實現の運びとなつた磐城高女講堂建築工事は基礎工事の準備なつて今二十四日午前十一時より子鍬倉山部神官司會の下に地鎭祭を擧行した

中野氏の戸數割行訴 けふ第七回口頭審問

解決迄には尙は一曲折か

平町中野勇吉氏提起に係る七年度特別戸數割賦課額八百三十四圓四十錢の異議申立行政裁判は審問の回を重ねる事六回、未だ解決の機に至らず第七回を今二十四日午前十時から開かれたので平町稅山野邊主任が立會つた、さきに裁判長から和解方をほのめかされたが尙幾多の未濟事項もあるので結審迄には相當の曲折あるものと云はれてゐる

教育部會 秋季總集 廿七日平第二校で

郡教育部會の秋季總集會は來る二十七日平第二校に開催、既報東京高師教官山田榮氏の講演に次いで東部（濱三郡）聯合教育會總集會は來月十日午前八時から双葉郡富岡町小學校講堂に開き教育功勞者、在職三十ヶ年以上勤續現職員表彰、研究會發表、講演等あり本部部會からも多數出席すると

。。。。。草野坪刈品評會 草野村農會後援水稻坪刈品評會審査會を二十五日午前九時から同村役場で行ふ

交通安全宣傳

自動車協會平支部では二十八、九兩日の交通安全デーに際し管內要所に立看板橫斷幕、行燈等で宣傳に努むる外自動車、サイドカーで宣傳ビラ約三萬枚を撒布更に二十七、八の兩日平署會議室に管內運轉手を招き交通取締に關し種々指示注意する

豫算編成を前に 平町の滯納整理

假借無く競賣處分斷行

滯納累加に惱されてゐる平町では新豫算編成を前にして大整理に着手した、町稅は去る昭和六年以降の未納金何と一萬七千餘圓、その中再三の督促にも應じない二百戸千三百餘圓分は已むなく來月一日、十五日の二回に亘り正午から競賣を斷行、尙縣稅、水道料未收者に對しても年內に差押處分に出るべく目下整理中であると

木炭檢查增員陳情

濱三郡木炭同業組合では現在檢査員五名では手不足なので昨二十三日、これ亦山村方部の困憊から叫ばれてゐる檢査料値下げ（現在の一俵一錢を八厘に）問題と共に代表者が縣下同業組合と共に出縣縣參事會知事に增員方陳情する處あつた

。。。。磐中臨時考查 磐城中學校では明二十五日より全校の第二學期臨時考查を開始する、又平商同上は來る廿八日より

各自校を代表して 律調を競ふ兒童

卅一日郡下小學唱歌會

郡下小學校兒童唱歌會は既報の如く來る三十一日午前十時から平第三校に開催されるが、從來の當番校主催制を廢して今回よりは郡教育部會が主催となり郡內五十數校の選拔小學兒童合計約千五百名が合唱、輪唱、齊唱、獨唱、その他唱歌遊戯等を演じその外に教師のピアノ、オルガン、ヴァイオリン等による範奏、範唱を行ふ筈で盛會を期待されてゐる

農林省の補助で 水產加工場新設

小名濱漁組一行準備視察

小名濱信用組合では過般の役員會で經費一萬餘圓を投じ魚肥魚數加工場を建設する事に決定したので長瀨組合長以下役員が先進橫濱市水產加工場視察の爲二十三日朝出發したが、右に對し農林省から農漁村振興獎勵として經費四分の三の補助あると

坊主が坑夫に轉向 不倫盜戒を犯す

願成寺のケサ泥檢擧 二十二日平署に檢擧

湯本町入山炭礦第四坑坑夫花田健一（三八）はもと僧侶をやつた關係から內郷村白水願成寺に出入りしてゐる中去月二十二日の選擧當日赤井住職が投票に行つた留守宅から袈裟一掛を窃取した事發覺目下平署で取調中

念入りなカル自殺未遂

起さずに—と書置して 好間生れの若い御嶽行者

好間村字北好間生れ水戸市內東町仕事師小林春次郎方同居人御嶽行者川又清（二八）は二十二日午後四時頃になつても起きないので家人が不審を拘き寢室に入つて見ると枕元に『體の具合が惡いから眼が醒めるまで起さずに置いて下さい』と書置きしてあつたのを發見、直に黒澤醫師を招き診察した結果多量のカルモチンを嚥下したものと判明した、水戸署から係官出張原因取調中であるが目下昏睡狀態で判然しないが同人は數ヶ月前から神經衰弱症に罹つてゐた處から厭世自殺を企てたものらしく一命は取止める模樣である

紅葉の—川前へ臨時列車 運轉

豫想さるゝ明治節當日の人出 手具脛ひいて待つ鐵道

深み行く秋と共に夏井の溪谷川前の紅葉が漸く錦繡の美を增し日每杖ひく人々の數を增してゐる—平驛では去る十七日の神嘗祭當日と二十日の日曜兩日雅客の便を圖つて臨時列車を運轉、例年の如く江田信號所に臨時停車を行つたが、更に丁度見頃季たる來月三日の明治節休日に助川迄の各驛と連絡して觀楓團体（汽車賃三割引）を募集してゐるが、助川驛から乘込む日立鑛山從業員約四百餘名の外千名を突破するものと觀られてゐる、雜沓する關係から上り停車を廢し、江田信號所からの發車時刻は

江田發	平着
前九、四一	一〇、〇八
後〇、一八	〇、四六
二、二三	二、五〇
三、三二	四、二二

尙臨時停車は來る二十七日並に來月十日の日曜の外一日の熱田神宮遷宮式（官廳休）當日も行ふ事になつたと

手長運搬夫の 帆待ち稼ぎ

故買古物商も檢擧

湯本入山炭礦第六坑運搬夫山形縣西村山郡生れ佐藤次

綺村上湯長谷古物商渡邊某（四八）に情を明かして賣却、二十二日兩人とも平署に檢擧された

ルンペン ルンペン 盜み廻る

西白河郡金山村生れ水野谷廣（三二）は去る八月平渡村下市萱矢吹勇方から衣類十五點（價格三十圓）を窃取した外同村內から前後十餘回に亘り衣類専門に荒し廻つた事發覺

世話する約束で 愛犬の身代金橫領

飼育主憤慨して告訴

內郷村御厩木賃宿業草野三郎は去る八月四日頃同村大字綴字町の內海老澤卯三郎方を訪れ三郎の愛犬（白黒ブチ）を他に世話してやるからと連れ歸りこれを同村鈴木某に五圓で賣り飛ばし憤慨した三郎から二十二日平署に告訴された

農蠶副業展入選者

伊達郡梁川蠶業講習所主催の農蠶更生副業共進會は昨二十三日より二十七日迄同講習所ならびに同町小學校において開催、審査の結果郡內の入賞者左の如し

晩秋蠶—一等上遠野上遠金門 圓通正直 蛭田熊太郎 二等澤渡鈴木信次外

中の作海面 埋立地賣却

江名町が昨年十一月工費六千圓で着工した同町仲の作公有水面埋立工事（三百坪）は此程竣功した、同町では近くこれを約八千圓で賣り渡す筈

小名濱町會

二十七日午前九時から開き十年度追加豫算、舊水產試驗場建物處分、上水道計劃其他雜件を附議

。。賭博 平町揉槌小路一四洗張業篠原忠次（三八）洋服仕立業大平泰一（三五）同紺屋町二同影山萬吉（四七）揉槌小路一四無盡外交員明智三郎（四五）の四名は七月二十日午後十時頃大平方で『八十八の馬鹿めくり』賭博を開張此程平區より各略式罰金十圓に處された

二十五日（小名濱測候所調査）

日出 五、五一　月出前 三、四〇
日沒 四、五一　月沒後 三、二一
滿潮前 二、四五　干潮前 八、四五
後 二、三五　後 九、三〇

10月25日

△吉川經家自刄し鳥取城秀吉の手に入る（天正九）△蒔繪師幸阿彌長安（慶長一五）△德富蘆花生る（明治元）△關係九十六名に及ぶ地方共產分子治安維持違反事件記事解禁（昭和八）

舊九月二十八日 金曜 甲戌 赤口 建 牛宿 新十月二十五日

諸判定應需 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 輕忽に行動すれば辛苦を招かんとする危險日▲二黑 猪勇は以外の失策を生ずべし病難怪我注意▲三碧 迷ひ多くしてわざはひにかゝり易し計畫を變へるな▲四綠 家業大切と他に考へを馳せず耐忍するが吉▲五黄 衆人の上に立つ勢あり益々謙讓を守るべし▲六白 發展榮達を來たすべき日なれば更に努めよ▲七赤 衆望を負ひ名譽を荷ひて大に奮起すべき日▲八白 勞苦は步と過ぎて漸々に幸運に惠まるゝ日▲九紫 他事に係り合ひて不利に陷る日悔を招くな

秋の流行洋品

新柄ショール豐富陳列
ソフト帽とネクタイ多數取揃
優良毛布とパンヤ枕豐富
毛編新型子供服とケープマント

ツルヤ
平四 電一四〇

現代的—紫山流盤景教授

修得短期 經費低廉

一、材料器具が安く何回でも使はれる。
一、練習二三回の初心者の作品でも直に床の間を飾るに充分である。
一、一週間一回六ケ月で修業出來る。
一、繪畫の素養全く無き老若男女どなたにも習得出來る。

紫山流盤景師範 高橋光山 平町白銀町 電話六三八番

勉强ノ店（良クテ安イ）

建築美品 床柱、天井板、ベニア板
新入荷品、秋田杉四分板、山川印優品建具材
內外銘木 建築木材一式 便利瓦、木羽
平町紺屋町 織田材木商店 〔電話平四六〇番〕
◎建築木材類ノ御用命ハ誠實勉強ノ當店ニ◎

急告

豆タク！豆タク！豆タク！の出現

秋のドライヴに、商用に
迅速 低廉 市內三〇錢 市外地普通料金四割引
鈴木自動車豆タク部 四丁目 電話二一七

冬の通學服賣出

中等生用

國防色	6號	4.00
	7號	4.20
黑小倉	特A6號	3.80 ヨリ
	A 6號	3.50 ヨリ
	B 6號	2.00 ヨリ
別注文	國防色	5.50 均一
	黑小倉	6.20 均一

ふかや洋服店 平三 電205